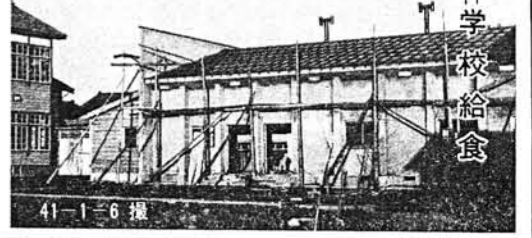
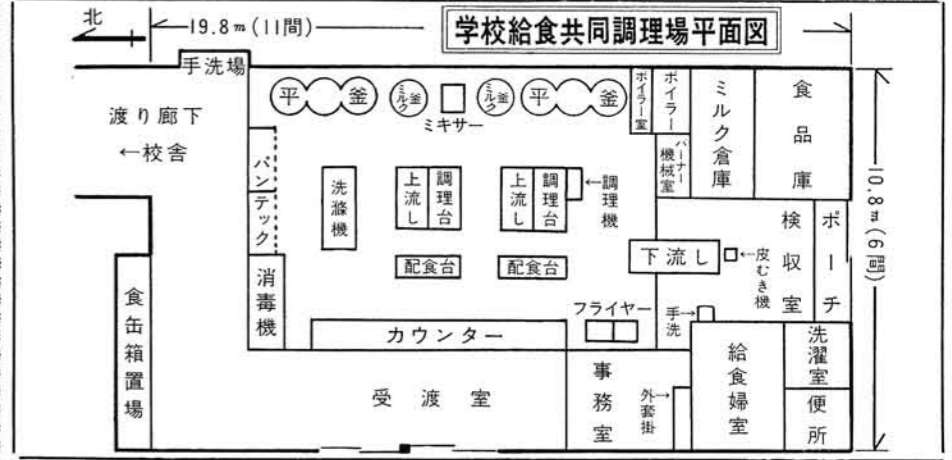


給食開始は2月上旬か



「学校給食共同調理場の建設工事が、いよいよピッチです。見込どおり、今月末に完工いたします。試験給食の後、二月十日頃、全面完全給食にはいる予定です。」



水道町・誕生 東手板に、町内がひとつ誕生した。別荘の南側に、別荘に添って真直に中学校グラウンドにぶつかっている道路がある。

学校給食運営委員会が発足いたしました 学校のことも、毎日毎日給食のこと、衛生のこと、また材料の確保のこと、この学校給食という、大切な教育事業を、今後スムーズにすすめてゆくために、このほど「学校給食共同調理場運営委員会」が発足いたしました。

代理所店開き 国民金融公庫Ⅱ 所手板代理所(新島相互銀行手板支店)が業務を開始いたしました。

火のしまつ 人にたのむなまかせるな 元日の朝は、そんな寒くありませんでした。朝は、そんな寒くありませんでした。朝は、そんな寒くありませんでした。

町村合併10周年記念式 三島郡清掃センター起工

1965 農業センサス結果 国勢調査(10月1日)

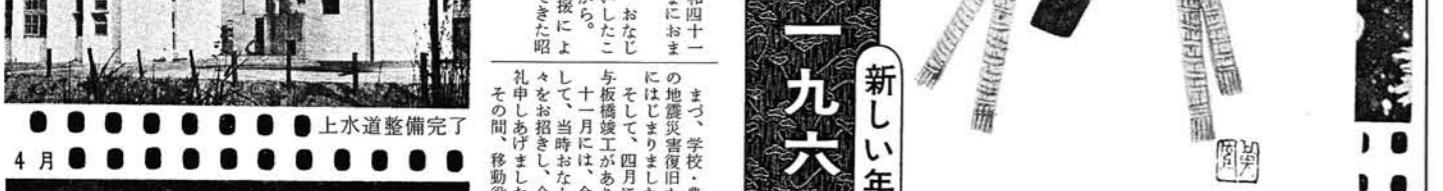
発行・与板町役場 新潟県三島郡与板町大字与板甲163 電話・与板400



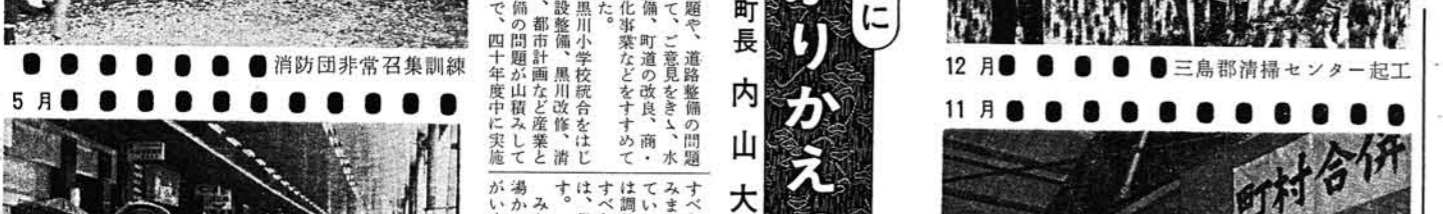
- 1,965年をふりかえって 新しい年の飛躍のために
2億円をこえた39年度決算 170万円の実質黒字
給食開始は2月上旬か 学校給食センター完成近し



町民のみならず あけてどうぞございます
おめどとくごいいます
ことしは、火の兄の、馬がみんなが「住みよい町」でくらせるように



新しい年の飛躍のために 一九六五年をふりかえって
与板町長内山大三
まづ、学校・農地・水道など、新しい気持で八幡さまにおまわりました。



消防団非常召集訓練 三島郡清掃センター起工
町村合併10周年記念式



1965 農業センサス結果 国勢調査(10月1日)
柳之町道路改良完工 総合開発審議会発足

町内毎の世帯数と人口

昭和40年国勢調査  
～概数～

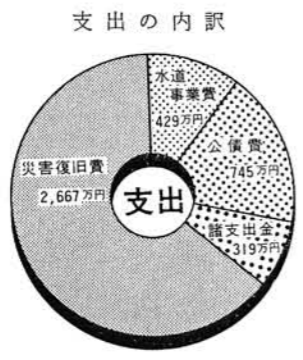
町内名	世帯数	人口
総数	1,770	8,323
原沢	114	585
谷	43	215
山倉	23	106
柳之	48	253
堤下	70	338
横	119	542
小	46	193
路	75	352
町	57	278
永	94	429
戸	75	341
町	121	525
前	53	240
町	30	145
岸	50	245
町	14	68
町	21	80
町	101	446
町	13	59
町	62	245
町	48	200
町	99	380
町	48	222
町	161	825
町	28	154
町	28	139
町	11	77
町	25	126
町	29	148
町	28	158
町	36	203

# 収入の52パーセントは国庫支出金 24パーセントは水道料金

この会計は、取立二千六三〇万円に対して、支出が、四一六〇万円の赤字で決算されました。この年度は、新潟地震の災害復旧と、被災地での水道料を一ヶ月分免除したなど、約一三〇万円の収入不足になり、地価のため大変苦しい。

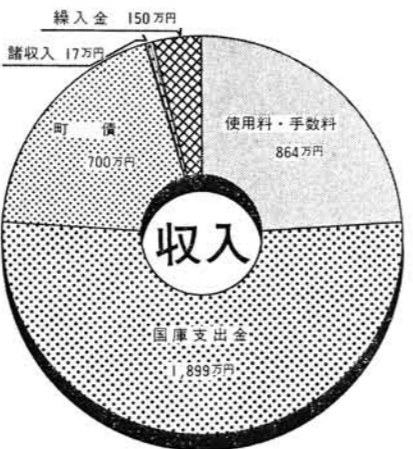
**赤字が増加した  
上水道事業会計**

この年度は、取立二千六三〇万円に対して、支出が、四一六〇万円の赤字で決算されました。この年度は、新潟地震の災害復旧と、被災地での水道料を一ヶ月分免除したなど、約一三〇万円の収入不足になり、地価のため大変苦しい。



## 収入の内訳

— 39年度決算 —  
上水道事業会計



**支出は 総額4,160万円のうち 64パーセントを災害復旧に**

収入を種別別に表にしますと、左の図のように一番大きいのが国庫支出金で、全収入の三分の一以上、三四・四パーセントという高い割合を占めています。更に、その内訳をみると、国庫負担金が大部分で、地震災害復旧のために、六千八百六十千円の補助金をうけています。

# 収入の56パーセントは国庫支出金 42パーセントは保険料

この年度は、取立二億二千七百〇万円に対して、支出が、二億七千二百〇万円の赤字で決算されました。この年度は、新潟地震の災害復旧と、被災地での水道料を一ヶ月分免除したなど、約一三〇万円の収入不足になり、地価のため大変苦しい。

**赤字が増加した  
国民健康保険事業会計**

この年度は、取立二億二千七百〇万円に対して、支出が、二億七千二百〇万円の赤字で決算されました。この年度は、新潟地震の災害復旧と、被災地での水道料を一ヶ月分免除したなど、約一三〇万円の収入不足になり、地価のため大変苦しい。

受診率のうつりかわりなど

年度	受診率	受診件数	1件当費用
昭和37	323.95%	19,869件	1,046円
38	346.25%	19,771件	1,337円
39	402.64%	21,799件	1,500円

被保険者数  
38年度～5,710人 39年度～5,388人

**支出は 総額2,270万円のうち 86パーセントを保険給付に**

収入の面では、まず、保険料の徴収率が、大いにあがったことを厚くお祝い申し上げます。昭和三十八年度では、八六・九パーセントの徴収率が、この年度では、九一・五パーセントという高い成績をあげていただきました。

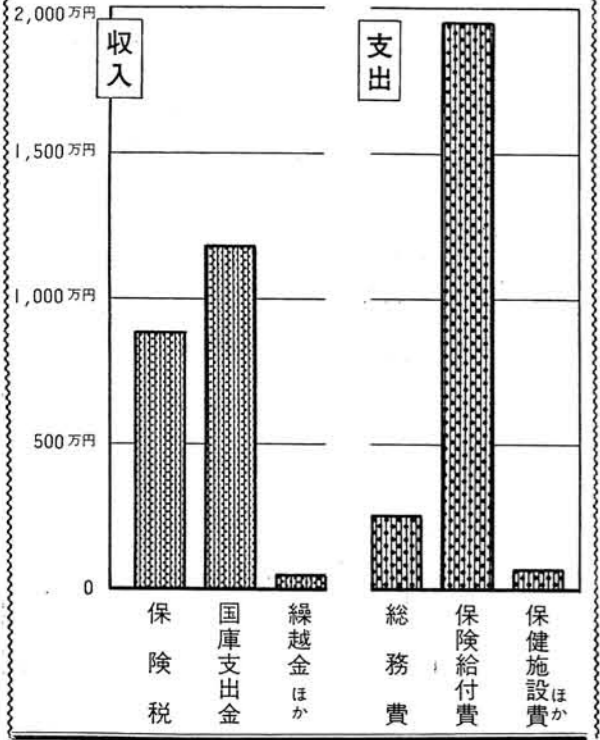
**黒字から赤字繰越し**

昭和三十八年度において、約三十八万円の黒字であったこの会計は、三十九年度では、赤字になりました。これは、残高が赤字になったためです。

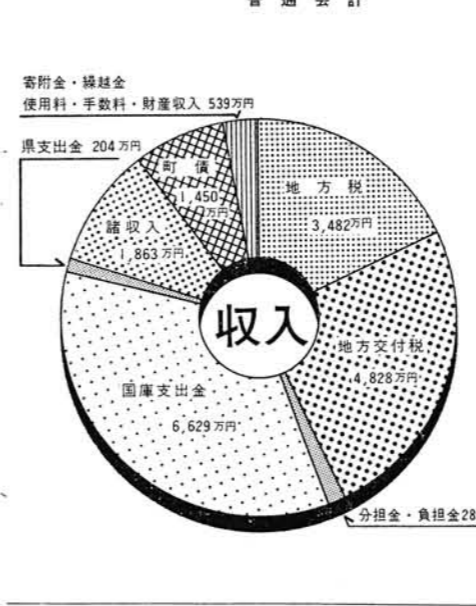
1,965年農業センサス  
～40.2.1～

農家数	専業	兼業	農家人口	男	女	農従者	男	女	田戸当	畑	山林	
552戸	40	334	3,145人	1,553	1,592	979	463	516	6,066反	11	504	4,533

## 国民健康保険事業会計の収入と支出



# 収入は59パーセントを国にたより 18パーセントは町税で



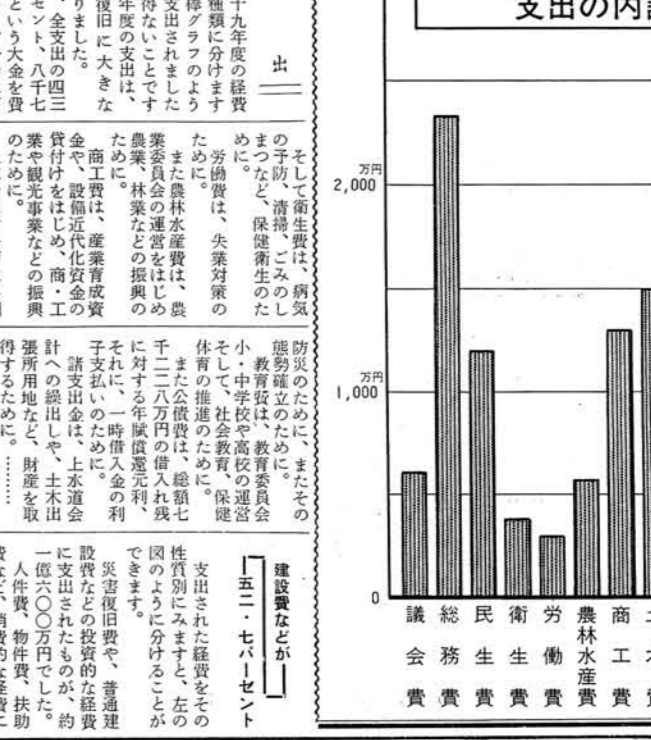
昭和三十九年度の普通会計は、収入が一億九千二百八十四万四千七百四十九円、支出の総額が、二億一四〇万五千四百九十九円、という概算で、前年度より約一億一千〇〇〇万円の増減がみられました。この規模は、前年、昭和三十八年度決算の二倍、昭和三十九年度の普通会計は、収入が一億九千二百八十四万四千七百四十九円、支出の総額が、二億一四〇万五千四百九十九円、という概算で、前年度より約一億一千〇〇〇万円の増減がみられました。

**支出は 総額2億100万円のうち 43パーセントを災害復旧に**

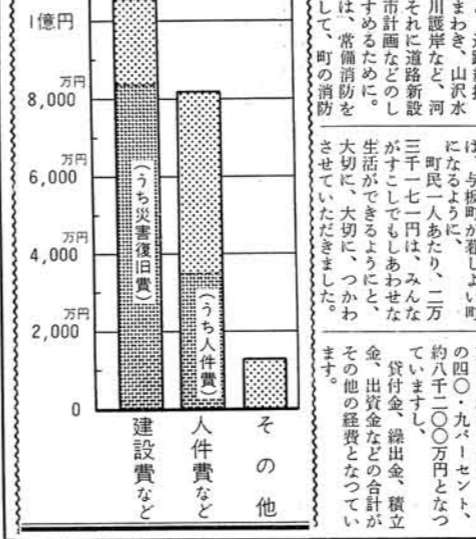
収入を種別別に表にしますと、左の図のように一番大きいのが国庫支出金で、全収入の三分の一以上、三四・四パーセントという高い割合を占めています。更に、その内訳をみると、国庫負担金が大部分で、地震災害復旧のために、六千八百六十千円の補助金をうけています。

## 支出の内訳

— 39年度決算 —  
普通会計



## 性質別の支出内訳



昭和三十九年度の経費を、三種別に分類すると、右の棒グラフのようになっています。このうち、最大の支出は、復旧費と災害費で、総額九百〇〇万円に達しています。これは、前年度に比べて、約二割増しの支出です。

# 二億円の大台をこえた決算 百七十万円が実質黒字に

## 39年度決算 普通会計

町債の、一千四百〇万円は、学校と農地の災害復旧を実施するために、また、この年度の減税分や、収入欠陥のために、国庫から借り入れたものであります。

使用料・手数料は、町営住宅や、ブルドーザーの使用料、戸籍や印かん証明などの手数料としてはいったものです。寄附金は、土木出張所の管理費として、関係町村からの収入が大部分となつています。

建設費などは、左の図のように、左の図のようになっています。このうち、最大の支出は、復旧費と災害費で、総額九百〇〇万円に達しています。これは、前年度に比べて、約二割増しの支出です。